

北陸農政局長賞受賞

自分たちのむらは自分たちで守り、未来へつなげる！

しもむらほぜんかい

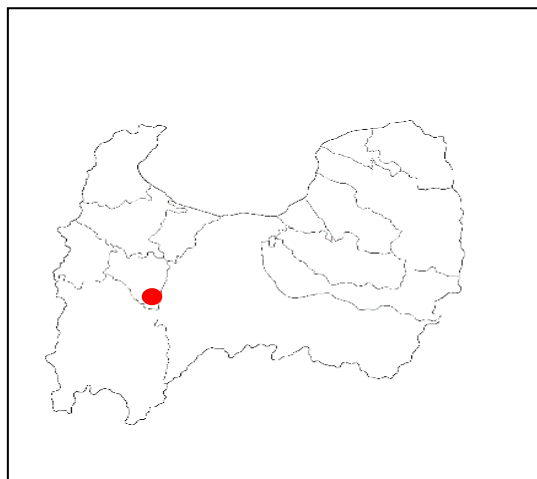
受賞者 **かんきょう下村保全会**

とやまけんとなみししょうがわまち
(富山県砺波市庄川町)

■ 地域の概要

「かんきょう下村保全会」が属する砺波市南部の庄川町青島下村地区(人口 277 人、世帯数 84 世帯)は、庄川扇状地の扇頂部に位置し、日本一の「種もみ」生産地の一角を成している。種もみは、となみ野のブランド商品として全国へ出荷されるほか、近年では転作作物として大豆、高収益作物として、たまねぎの栽培を進めている。農業者や地権者の高齢化、担い手不足、過疎化により、地域資源の維持管理能力の低下が深刻化する中、次世代への体制づくり、今後のむらづくりの核となる「農地・水・環境保全向上活動」への取組が展開され、平成 19 年 3 月「下村環境保全推進委員会」を設立。将来にわたって地域資源を守っていくメッセージ性をより強くするため、平成 26 年「かんきょう下村保全会」に名称変更した。

位置図



■ 主なむらづくりの概要

農道や畦畔の法面にセンチピートグラスを植栽(合計 15 か所、総延長約 4.6km)し、水路の目地詰め作業を実施するほか、用水路への転落事故を減らすためのワークショップを開催する等、農業用施設の維持・管理に取り組んでいる。県道沿いに 3 か所の花壇、ちびっこ農園を 1 か所整備し、取組についての広報誌を年 3 回刊行・配布、農業用水路危険箇所マップの作成、先進地研修を毎年実施する等、普及・啓発を行う。地域住民が一体となり農村環境に関心をもち、「伝統と魅力ある地域の保全活動を次世代に引き継ごう」という共同意識の醸成が、地域全体を活気づけ、さらには地域の農業生産力の向上・効率化が図られている。

